

2024年度

特待生入学試験問題

数 学

注 意

1. 監督者の「始め」の合図があるまで開いてはいけません。
2. 試験時間は、板書されている時間割のとおりです。
3. 問題用紙とは別に解答用紙が1枚あります。
4. 監督者の「始め」の合図があったら、すぐに受験番号と氏名を解答用紙の決められた欄に書きなさい。
5. 答えは、必ず解答用紙の決められた欄に書きなさい。
6. 試験中に質問があれば、手をあげて監督者に聞きなさい。
7. 監督者の「やめ」の合図があったらすぐやめて、筆記用具をおきなさい。
8. 分数はすべて有理化し、既約分数（これ以上約分できない分数）で表しなさい。
9. 根号を含む形で解答する場合は、根号の中に現れる自然数が最小となる形で答えなさい。
10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

問題	選択方法
問題 1	必 答
問題 2	必 答
問題 3	} いずれか2問を選択し、解答しなさい。 (たとえば、問題 3 と問題 4 を選択)
問題 4	
問題 5	

1 つぎの問いにすべて答えなさい。

(1) 式 $(x+2)^2(x-2)^2$ を展開すると, **ア** である。

(2) $A+B=3$, $AB=-2$ であるとき, $\frac{1}{A}+\frac{1}{B}=\mathbf{イ}$ である。また, $(A-B)^2=\mathbf{ウ}$ である。

(3) 20 以下の自然数を全体集合とする。つぎの 3 つの部分集合

$$P = \{x \mid x \text{ は偶数}\}$$

$$Q = \{1, 2, 3, 4, 5\}$$

$$R = \{x \mid x \text{ は } 5 \text{ の倍数}\}$$

について, 集合 $P \cap Q = \{\mathbf{エ}\}$ である。また, 集合 $\overline{P \cup R} = \{\mathbf{オ}\}$ である。

(4) $\sin 39^\circ = \boxed{\text{カ}}$ に当てはまるものを下の①～⑤のうちからすべて選び、その番号を答えなさい。

- ① $\cos 39^\circ$
- ② $\sin 51^\circ$
- ③ $\cos 51^\circ$
- ④ $\sin 141^\circ$
- ⑤ $\cos 141^\circ$

(5) $\triangle ABC$ において、 $\angle A = 120^\circ$ 、 $AB = 3$ 、 $AC = 5$ とする。
このとき、 BC の長さを求めると、 $BC = \boxed{\text{キ}}$ である。

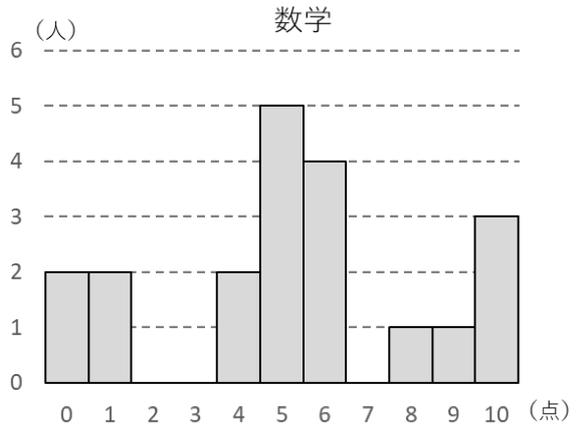
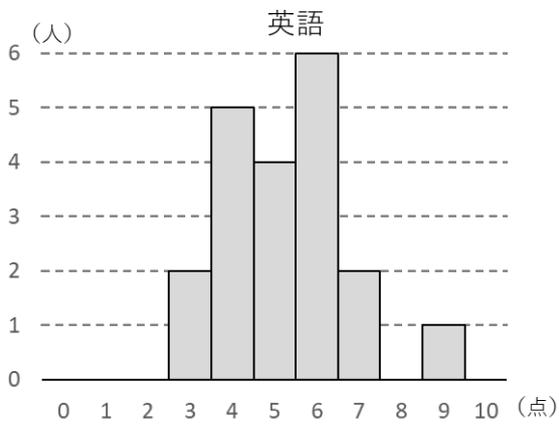
2 つぎの問いにすべて答えなさい。

- (1) 2次関数 $y = ax^2 + bx + c$ のグラフが、3点 $(0, 4)$, $(3, 1)$, $(-2, -4)$ を通るとき、この2次関数の式を求めると、 $y =$ である。
また、この2次関数の最大値を求めると、 $x =$ のとき最大値 をとる。

- (2) 2次不等式 $2x^2 - 7x - 15 < 0$ を解くと、 である。

(3) 20人の生徒が、英語と数学の小テストを行った。

小テストはそれぞれ10点満点であり、得点ごとの人数をつぎのヒストグラムに示す。
このとき、下の問いに答えなさい。



[A] 英語の得点の中央値は 点であり、数学の得点の中央値は 点である。

[B] 英語の得点の平均値は 点である。

[C] 下の①～④のうち、正しいものの番号を1つ選ぶと、 である。

- ① 英語と数学のデータの範囲を比べると、範囲が大きいのは数学である。
- ② 英語の得点の最頻値は、9点である。
- ③ 数学の得点の第1四分位数は、1点である。
- ④ 英語と数学の得点の第3四分位数を比べると、英語のほうが高い。

問題 3 ～問題 5 は、いずれか 2 問（たとえば問題 3 と問題 4）を選択し、解答しなさい。

3 つぎの問いにすべて答えなさい。

(1) 10 本のくじの中に 3 本の当たりくじがある。A, B の 2 人がこの順でくじを 1 本ずつ引くとき、A が当たり、B がはずれる確率は である。ただし、引いたくじは元に戻さないものとする。

(2) 等式 $x + y + z = 6$ を満たす自然数 x, y, z の組は全部で 組ある。

(3) 男子 4 人、女子 6 人の中から、5 人を選んで組を作るとき、男子 2 人、女子 3 人の組は、全部で 通り作ることができる。

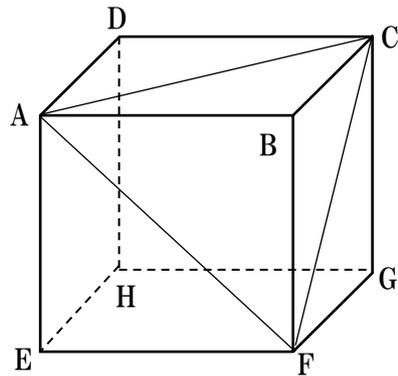
(4) 袋の中に赤玉が5個，白玉が4個入っている。この袋から2個の玉を同時に取り出すとき，2個とも同じ色である確率は である。

(5) A, B, C の3人がこの順でPK（サッカーのペナルティキック）を1回ずつ行う。3人のゴールする確率は，それぞれ $\frac{2}{3}$ ， $\frac{3}{4}$ ， $\frac{4}{5}$ である。このとき，3人のうち少なくとも1人はゴールする確率は である。

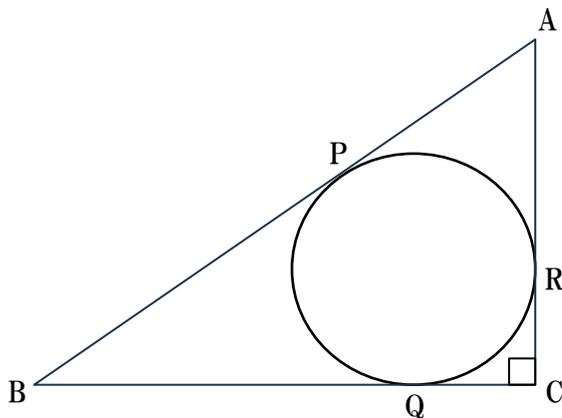
問題 3 ～問題 5 は、いずれか2問（たとえば問題 3と問題 4）を選択し、解答しなさい。

4 つぎの問いにすべて答えなさい。

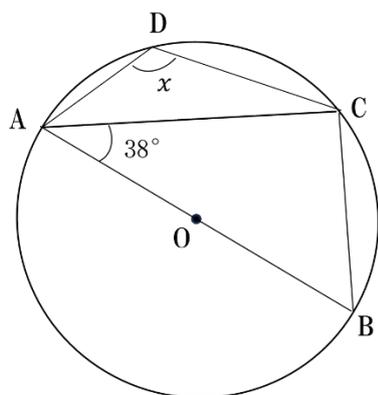
- (1) 図において、正六面体 ABCD-EFGH の1辺の長さは4である。この正六面体の3つの頂点 A, C, F を結んでできる三角形 ACF について、辺 AC の長さは であり、面積は である。また、三角形 ACF を底面とする四面体 BACF の体積は である。



- (2) 図において、 $BC=8$, $CA=5$, $\angle C=90^\circ$ の直角三角形 ABC に、半径 r の円が内接している。点 P, Q, R は内接円と辺 AB, BC, CA のそれぞれの接点である。このとき、辺 AB の長さを r を用いて表すと $AB =$ になる。



- (3) 図において、 AB は円 O の直径であり、点 C, D は円周上の点である。 $\angle BAC = 38^\circ$ のとき、角 x の大きさを求めると、 である。



問題 3 ～問題 5 は、いずれか 2 問（たとえば問題 3 と問題 4）を選択し、解答しなさい。

5 つぎの問いにすべて答えなさい。

(1) a, b は整数とする。 a を 6 で割ると 5 余り、 b を 6 で割ると 3 余る。このとき、 $a + b$ を 6 で割ったときの余りは である。

(2) 3 進法で表された数 $2011_{(3)}$ を 10 進法で表すと となる。

(3) n は正の整数とする。 n と 90 の最大公約数が 15 であるような n の中で、100 に最も近い数は である。

(4) a は自然数とする。 $a + 3$ は4の倍数であり、 $a + 4$ は7の倍数であるとき、 $a + 11$ は28の倍数であることを、次のように証明した。 $\boxed{\text{エ}}$ 、 $\boxed{\text{オ}}$ に適する式を入れなさい。

[証明] $a + 3$ 、 $a + 4$ は、自然数 m 、 n を用いて表すと、

$$a + 3 = 4m, \quad a + 4 = \boxed{\text{エ}} \quad \text{となるから、}$$

$$a = 4m - 3 \quad \dots\dots\text{①}$$

$$a = \boxed{\text{エ}} - 4 \quad \dots\dots\text{②}$$

$$\text{①を } a + 11 \text{ に代入して整理すると } a + 11 = 4(m + 2) \quad \dots\dots\text{③}$$

$$\text{②を } a + 11 \text{ に代入して整理すると } a + 11 = \boxed{\text{オ}} \quad \dots\dots\text{④}$$

よって、③より $a + 11$ は4の倍数であり、④より $a + 11$ は7の倍数でもある。

4と7は互いに素であるから、 $a + 11$ は 4×7 の倍数、すなわち28の倍数である。 [終]

受験番号	
氏名	

得点計

数学 模範解答

- 1 ア $x^4 - 8x^2 + 16$ イ $-\frac{3}{2}$ ウ 17 エ 2, 4
 オ 1, 3, 7, 9, 11, 13, 17, 19 カ ③, ④ キ 7

- 2 ア $-x^2 + 2x + 4$ イ 1 ウ 5 エ $-\frac{3}{2} < x < 5$
 オ 5 カ 5 キ 5.25 ク ①

問題 3 ~ 問題 5 は、いずれか 2 問（たとえば問題 3 と問題 4）を選択し、解答しなさい。

- 3 ア $\frac{7}{30}$ イ 10 ウ 120
 エ $\frac{4}{9}$ オ $\frac{59}{60}$

- 4 ア $4\sqrt{2}$ イ $8\sqrt{3}$ ウ $\frac{32}{3}$
 エ $13 - 2r$ オ 128°

- 5 ア 2 イ 58 ウ 105
 エ $7n$ オ $7(n+1)$ ※1

※1 「 $7n + 7$ 」も正解とする。